



広報誌かながわ

第4号

神奈川県ダンススポーツ連盟
<http://www.jdsf.or.jp/kanagawa/>



今年のテーマは、 “広げようダンススポーツの輪！”

神奈川県ダンススポーツ連盟
会長 仲野 巽

昨年、財団法人神奈川県体育協会への加盟が達成してから1年が経過し、私も神奈川県ダンススポーツ連盟（以下、県連盟）も競技に普及に、ダンススポーツ活動活動が定着してきました。その一つであり、また昨年から開始した事業活動に会員拡大と技術認定会があります。



私たちの上部団体である財団法人日本体育協会は、その「21世紀の国民スポーツ振興方策」の中で、国際化、情報化、少子高齢化などのわが国社会の急速な変化の中で、スポーツの果たす役割は年々高まっており、国民一人ひとりが豊かで活力ある生活・暮らしを基軸とする、いわゆる「生涯スポーツ社会」の実現に向けて国民スポーツを振興していくと、述べています。日本体育協会も従来の競技スポーツ中心から少子高齢化社会の到来に向けた生涯スポーツ志向へウェイトが移りつつあるのが良く分かります。

ひるがえって、日本ダンススポーツ連盟（以下、JDSF）そして私たち県連盟をみると、従来はやはり競技志向の比重が高く、競技会ランキング制度などの競技普及策に比べて、生涯スポーツとしてのダンススポーツの普及策はほとんどなかったと言わなければなりません。

特に、神奈川県の場合は総会員数3,757名（2005/10/31現在）に対して登録選手数が2,754名、73%で、全国平均の56%に対しても選手比率が高い県の一つで、従来の活動は競技一辺倒だったといっても過言ではないでしょう。

しかし、ご存知の通りダンススポーツは年齢性別に関係なく、自分の技術と体力に応じて、激しくも楽にも、また比較的安全で手軽に楽しめる、まさに生涯スポーツとしては最適の特性を持っています。

JDSFは、このすばらしいダンススポーツを、競技だけでなく生涯スポーツとしても広く普及しようということで、会員拡大を第1の事業方針に掲げて活動を開始しました。JDSFのこの方針にならって県連盟も先月開催された総会において会員拡大活動を積極的に展開することを決議し、会員拡大委員会を設置しました。

具体的な活動計画についてはこれからですが、会員拡大に大きく関連する事業として技術認定会があります。これは競技会には興味がないが上手になりたい、きちんと技術を習得したい、そしてその成果を評価してもらいたい、という多くの愛好者のために、生涯を通じて意欲を持ってダンススポーツに親しんでもらうということを目指してスタートした制度です。

神奈川県は、昨年から全国に先駆けて積極的にこれに取り組みましたが、今年は全国のモデル県に指定されて、より一層力を入れていくことになりました。G6からG1までの技術認定を目標に、講習会に参加し、技術を習得して認定を獲得して更に上を目指す、そのために会員となって県下の認定サークルに参加してもらうというのが構想です。この制度を上手く活用して、競技会には興味はないがダンスは好きという多くの愛好者が、会員になってくれることを期待しています。

この他、色々な具体策を検討していきますが、手近なこととしては各サークル内のまだJDSF会員になっていない人に会員になってもらう、そのためのメリット作りなどを検討中です。

世の中には、また神奈川県にも、多くのダンス愛好者がいるのですが、県連盟の競技オンリーイメージが先行して、その人たちにダンススポーツのすばらしさを上手く伝えることができずに、仲間になってもらうことができませんでした。これからは競技だけではない、豊かで活力あるスポーツ生活を楽しんでもらうためにダンススポーツは最適な生涯スポーツであることを、もっともっと知ってもらいたいと思います。今年の県連盟のテーマは、「広げようダンススポーツの輪！」です。

技術認定実施規程の改正について

神奈川県ダンススポーツ連盟技術認定部長 瀬瀬 和夫



皆様におきましては、生涯スポーツとして健康促進・技術の向上・ダンス仲間との楽しい交流等、さまざまな形でダンスを楽しんでおられることと存じます。

このほど、神奈川県ダンススポーツ連盟において新たに技術認定部が設立されました。初代部長として私、瀬瀬が県より任命を拝し力不足ではありますが一生懸命に邁進していく決意であります。これからも応援をよろしくお願い致します。

技術認定制度は個人にフォーカスし、ダンススポーツを自己実現のツールとして提供し、支援致してまいります。これからのサークル指導者としての技術の応援、公認指導員への道標、サークル及びダンス愛好家の仲間作りの応援に、皆様のツールとしてこの技術認定制度がご利用頂ければ幸いです。

ダンス愛好家の方がJDSF会員でなくても技術認定会に申し込みができるよう制度の見直しを致しました。神奈川県下で技術認定講習会及び技術認定会が随時開催されております。

インターネットに掲載日時が記載されておりますので、ご参加を心よりお待ちしております。

改定内容

社団法人日本ダンススポーツ連盟 技術認定実施規程のグレードコースのG6-S及びG6-L並びに体験コースの受験資格を「会員登録している者」から「主催者が認める者」に改めます。

注1) JDSF会員以外の者が受験する場合において、当該受験者が認定試験に合格したときはJDSFに入会しなければならない。

注2) JDSF会員以外の者が受験する場合においては、あらかじめ同規程別表2に定める受験料及び認定申請料並びに加盟団体が定める入会手続に要する費用を一括して納めなければならない。

注3) JDSF会員以外の者が受験した場合において、当該受験者が不合格となった場合には認定申請料は返却するものとするが、当該受験者が合格した場合においてJDSFへの入会を拒否した場合には、当該合格判定は無効とし、認定申請料は返却しないものとする。

技術認定会を実施して

鎌倉市ダンススポーツ連盟 鈴木喜久子



鎌倉ダンススポーツ連盟は、平成17年9月18日にグレード6を、平成18年4月9日にはグレード6と5の認定会を実施しました。日頃、ダンス普及の必要性を意識していることや、県の方針もあり、鎌倉でも実施となったのです。

鎌倉では、従来より競技大会用会場が不足していたのですが、規模が、講習会や、今回のような技術認定会用としてであれば、会場の確保の可能性が増えます。二回とも、幸い、会場確保が出来たため、実施がスムーズにいききました。

一回目は応募資格に「一般ダンス愛好者」と入れたせいか関心を呼びました。各サークルも、非JDSF会員でも参加できるということで、50余名の受験者を迎えることが出来ました。うれしいことに、全員が会員登録となりました。二回目は前回の受験者用にグレード5を、また、新しい方用にグレード6を実施しました。しかし、残念ながら次のステップへの関心は大きいとは言えませんでした。グレード5の受験者は20名程度だったのです。

受験者からは、「どんなものかわかっただけでいいです。競技選手や、指導者になるつもりはないですから。」また、「パーティでは、今で十分だし、クローズドチェンジなど使わないし、通じないでしょうから…」という声がありました。女性受験者の中には、「競技選手のリーダーさんと踊れてよかったです」という声もありました。全部の感想はここでは書ききれませんが、印象としてはまだまだ認定会に対する認識が低いと感じます。

なぜこのステップを使っているのか、このステップの大切さ、このステップで何を学ばなければならないのか等、理解されて受験されているとは思えないのです。

これについては主催者側の問題でもあり、私たちも講習会等により、説明や指導が出来るようにレベルアップすることも大切だと痛感しています。

今後、県でも、各連盟からの報告を生かしていく必要があるでしょう。そして、また、各連盟へ指導として伝えて行って欲しいと思っています。そのためにも、アンケートを継続的に行い、その中味を十分検討し、技術認定制度をもっともっと、普及に生かしていければと願っています。



技術認定研修会

平成18年5月20日 於) 男女共同参画センター (南太田)



中道俊之 本部講師



富永純敏 本部講師



アシスタント



岡本・岡本組

堀越・富樫組

神奈川県では、技術認定員と、リーディング・パートナー、フォローパートナーの方が一堂に集まり、技術認定研修会を行いました。

当日は、中道俊之 本部講師より、認定制度に関する机上講義を受け、午後からは、富永純敏 本部講師によるスタンダード、ラテンのアマルゲームーションの確認と、ポイントについて解説がありました。

県内では、G6からG3までが審査対象であり、使われているステップを正しく理解しておく必要があります。今回、パートナーになる方は、男女逆転になり、要所を要所を確認していきましました。普段男女逆転に慣れていない方にとっては、冷や汗や戸惑いもありました。技術認定受験者の方の期待に応えられるよう、更に、練習を積み重ねる事になります。

そして、技術認定員の方は、その踊りを見て、評価を行う練習を行なったのですが、どのステップの、どの部分が、どうであるか。また、何処を審査すべきかという点で、偏りの無い、正しい絶対評価を身に付ける良い練習となったのではないかと思います。

今回の研修は、技術認定で使われるステップを色々研究されている富永純敏氏をお迎えしての講習で、短い時間ではありましたが、今後の技術認定を行うのに、参考になったのではないかと思います。

アクティブシニアin横浜 2006
 2006年9.3(日)開催
 会場:ロイヤルウイング

イベントタイトル:
 モーツァルトを「聴いて」「学んで」「体感」する

「元気で生涯を過ごす」

アンチエイジング(抗加齢医学)、代替医療を通してあなたの健康をサポートする
アクティブ倶楽部

これまでにない「超高齢化社会」を迎えつつある現代において、今後の「健康」のあり方はこれまでとは異なり、「自分で行う健康管理」が大切になります。

ミドルエイジからシニアの人々が、病気になるらないための予防を行いながら、いつまでも若く美しく、元気で生涯を過ごすことが21世紀には求められています。

アクティブ倶楽部はこのような社会背景の下、健康・医療・美容・娯楽・学びなどに関するテーマとイベントを提供し、「アンチエイジング(抗加齢医学)」を命題とした活動を行うなかで、中高年齢の人々が元気に楽しく暮らしているための啓蒙活動や支援を行うことを活動目標として発足したNPO法人です。

健康楽しむ学ぶ

「健康」「楽しむ」「学ぶ」
 内閣府認定NPO法人 **アクティブ倶楽部**
 東京都中央区八丁堀1-1-3協栄八重洲ビル4F
 TEL.03-3553-3401
 FAX.03-3553-3402
<http://www.active-club.com/>

※浜友ダンスクラブ設立者OBが企画運営に参画しております。

競技会開催までの道のり（裏方って何している…？）

競技会は、多くの役員の協力の下に開催されます。今回は競技会当日までにどのような作業を行っているのかを少しご紹介致します。



★会場の確保

大会開催の前年度、市体育協会との会議で、教育委員会や各協会の年間予定を勘案し決定されるのですが、JDSFの中で、大会が重ならないように調整する必要があり、更に、行政業務民間への委託の流れを受け、右往左往するところから始まります。

★大会の申請

大会開催の5ヶ月程前にシラバスの内容検討や作成を行い、県やDSCJ等への各種手続き（公認申請・審判員依頼）、後援や市長杯などの冠のための別途申請依頼があります。そして、体育館使用許可願いの提出、使用料減免申請手続き、駐車場借用交渉、市広報誌や雑誌等の掲載申込手続き、来賓への案内状作成まで行った上で、実行委員選定や実行委員会開催となります。

★交渉

行政など役所との交渉で、たとえばフロアシートの利用に関する事前打ち合わせの際に、対応担当者により融通が聞かない等、交渉が難航する場合があります。

★大会準備

そして、ここからが時間との戦いが始まります。申込締切り後、競技会支援システムに、申込者の入力処理や、登録データとの照合とチェック、タイムテーブル・プログラムの作成&チェック、音響用タイムテーブル・曲手配、そして参加者に配るプログラム印刷、賞状・トロフィー手配があり、会場設営に関わる、パネル・テープの手配、背番号手配、案内・掲示用表示板の確認・手配、傷害保険手続き、開催会場側との最終確認など、参加者人数が分かってから、ようやく、作業が始まるのです。

入力された選手データは、間違いがないか、県連盟でも確認を行ったり、当日の役員となる方への、事前確認などもあります。

★大会設営、撤収作業

フロアに敷かれているシートの設営は前夜に行ってます。撤収作業は、大会を終え、既に疲れている老体に鞭打って行う作業です。そして、競技会が終わっても、忘れもの対応や、結果報告など続きます。

競技会開催にあたり、同じ役員の方が続けて行っていることから、手馴れた部分はあるようですが、大変な作業として、申込み受付処理があります。

★申し込み処理

大会準備の項で触れましたが、具体的には申込みの不備に関わることです。

用紙サイズがB5ではない、A4や他のサイズ、或いは他のサイズで印刷したものをB5相当にカットしたもの、FAX用感熱用紙での申込、選手登録証のバーコード部分のかすれ（読み取りができない）、申込用紙が最新の用紙ではない（過去に配布された様式書での申込）、申込記載事項の不備、カップル未登録、所属団体を通さず直接申し込んでくる、申込区分の間違い、出場資格の勘違い、出場料・等の過不足など様々です。こういったことに対して、申込者への連絡になるのですが、何度連絡しても不在であるなど、連絡が一度ですまない場合や、本人に連絡がとれず所属連盟責任者に連絡を取る場合など、多岐に渡ります。更に近年は、JDSF未登録者も6級戦に出場できるようになった為、申し込みだけでなく、JDSF会員登録に関する手続きなどあります。

JDSFの会員管理システムに登録されている、直近の会員データをもとに、申込書の確認を行うのですが、間違いや、問い合わせのため、時間が割かれ、時には仕事を休んで対応しなければならないこともあります。このため、競技会申込書提出の際には、記載事項について間違いがないか再度確認をしていただくことをお願い致します。



大会では、ただ座っているだけに見える役員や、採点管理室であくせく働いている役員など、色々に見えます。選手の方には、大会前後に、こういった作業があり、役員総出で頑張って大会を支えていることを是非知って欲しいと思います。これだけ頑張っても、大会運営が不採算事業であり続けることは支部の運営に関わる事態となりますので頭の痛いところです。しかし、そのような悩みや苦労も、大会が怪我や事故が無く無事終われば喜びとなります。

協力 相模原市ダンススポーツ連盟 篠塚氏

神奈川県 シルバースター選手権大会

平成17年12月3日 於) 旭スポーツセンター



今回の大会では、新人戦、1～3級の区分に加えて、ゴールドスター、チャンピオン戦、グランドチャンピオン戦、ロイヤルチャンピオン戦という、レベルの高い、多くの区分で熱戦が繰り広げられました。県内の各連盟でも、シルバー競技会が開催されていますので、多くの、はつらつとした元気な勇姿が見られるのではないかと思います。

昨今、県内を含め、JDSF会員のほとんどが60歳以上であることから、ベテラン選手にとっては、JDSF公認競技会では、限られた競技区分に集中することが多いようです。

神奈川県では、こうした選手の方を対象として、DSCJとは別に、6級～1級の区分が制定された独自のシルバー競技会を開催しています。

これにより、習い始めた方でも、入賞の可能性が増え、より楽しみが増えていくのではないかと思います。



小林喜正・丸山きぬえ組



根元達真・美弥子組

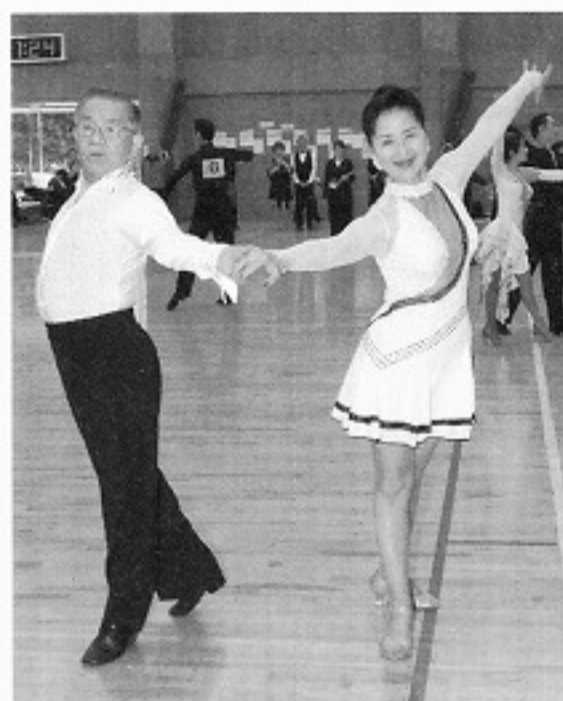


山崎和雄・照子組



田中嘉美・朝子組

ゴールドスター戦優勝



横田久雄・とよ子組



横田久雄・とよ子組

チャンピオン戦優勝



諸星又春・遠藤悦子組



大嵩岩雄・久子組

グランドチャンピオン戦優勝

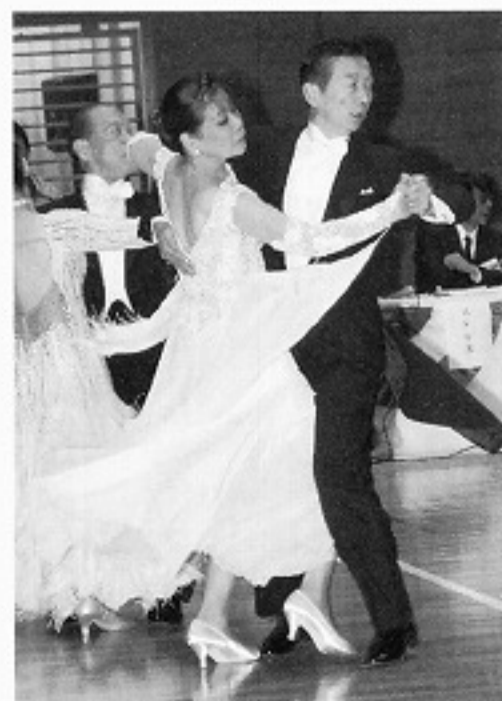


諸星又春・遠藤悦子組

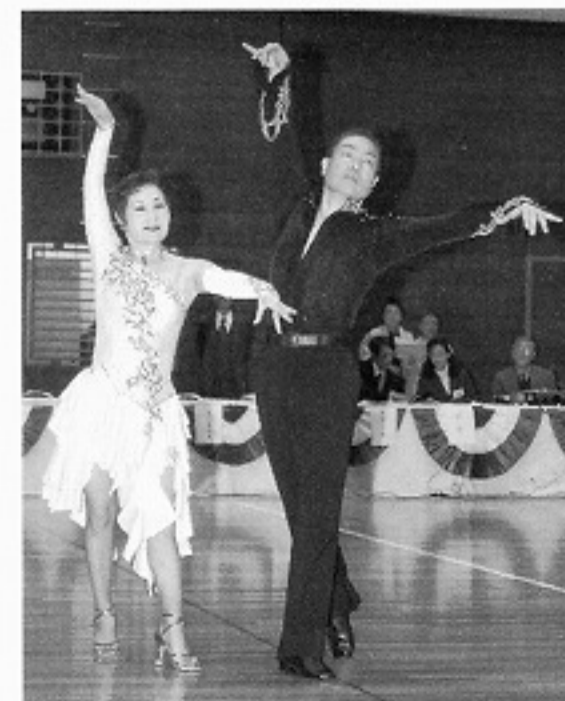


林峯之・暁子組

ロイヤルチャンピオン戦優勝



藤田昌邦・ヒロ子組



佐藤安昭・加代子組

ダンス愛好者からの声

藤沢市ダンススポーツ連盟 隅田 雄一

今回は、体育館の利用についてです。ダンスの練習やパーティーなど、公共施設を利用されている方が殆どではないでしょうか？

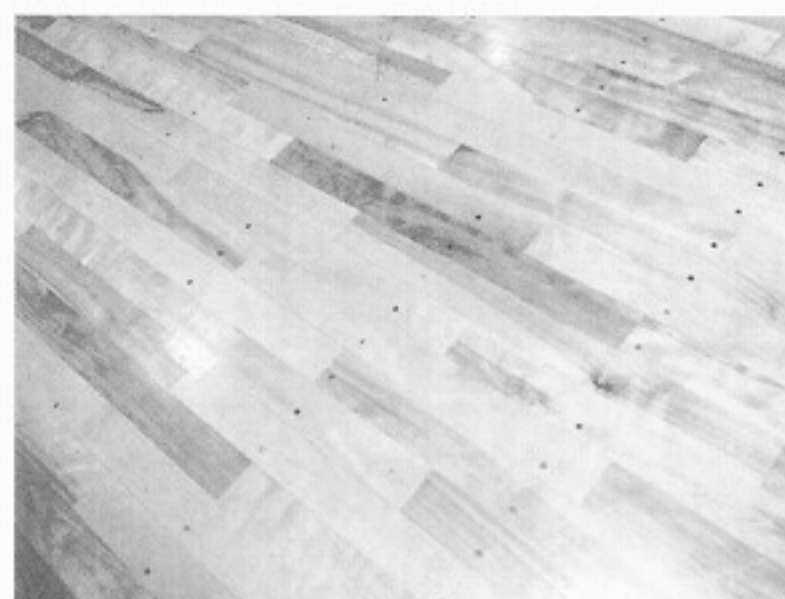
会員の方より、「Pタイルの床では膝を痛めてしまうので、木質床の体育館が使えるようになる方法はないのか」と云う切実な意見が多数寄せられています。

神奈川県内では70%以上の体育館で、床にキズが付くからと云う理由で、パネル敷設なしでの利用は許可されていないのが現状です。

体育館でのダンスシューズ利用に関しては、先行している大和市協会を含め、各連盟がそれぞれ思案しているのですが、藤沢市ダンススポーツ連盟では、近隣の体育館利用実態調査（養生の有無）やダンスシューズの種類・工夫等について行政と相互理解を深めて、靴底の広いティーチャーズシューズに手製のヒールカバーを装着すると云う条件付きながら、一年間に亘る試行を経て、9つの公民館の体育館利用が可能になっています。

会員からは、通常使用される靴とは異なる、練習靴を用意しなければならないが、競技会と同じ広さの体育館で、足や膝の心配をせずに思い切り練習が出来ると好評です。

出来れば、競技会の直前には、正規のハイヒールを履いて実践練習をしたいとの希望が出ていますが、パネル敷設には多大の費用と時間と労力が必要であり、実現の可能性は模索中です。



ヒールカバーでキズ防止



ダンススポーツにおいて、ドレスが舞うスピード感のある動きというのは、選手自身だけでなく、靴や床というのが、大きく関係してきます。

ヒールターン（ヒールを軸にして行う回転動作）や、パソドブレなど、ダンスシューズが床をキズつけると言われることから、ほとんどの競技会では床にパネルを敷き、かつ、すべての競技会やパーティーでは、ヒールカバーを付けることを義務付けているのです。

これは、床をキズつけるのを防止するという意味だけでなく、足の怪我などを考えると、柔らかい木の床が望ましいのですが、そう条件の良い環境というのは殆ど無く、そのため足の床あたりが柔らかくなるという意味でも、ヒールカバーを付けているのです。

さて、このヒールカバー、セロテープでくくり付ける事が多く、見た目に悪い。また、新しいヒールカバーなのか、使い古しなのか分かりにくい。更に取り付け方法が悪いと取れやすくなってしまいます。受付でヒールカバーのチェックを行なっても、種目が変わり、靴が変わると、ヒールカバーの事が忘れやすくなってしまいます。床をキズつけないようにと、細心の注意を払っていたとしても、この状態では、うっかり誰かがキズつけやしないか、心配です。

こういった状況は、特に、公共施設の職員には、そもそも外靴と似ているシューズということもあり、ヒールカバーまで見るところまで至らず、全く判断つかないのです。

ダンスの習得もさながら、ヒールカバーをきれいに、きちんと付けるということが、大切なのですが、選手だけでなく、施設の管理者側も納得する、床をキズつけない安心できるダンスシューズの検討というのも必要なのですが、あまり進んでいないのも現状です。少なくとも、ヒールカバーがある事が分かり、かつ消耗状況が一目で分かるようになれば、ダンスシューズへの抵抗や、ヒールカバーのチェックの労力も軽減されるのではないかと期待しています。

我々をサポートする靴メーカーも、是非、考えて欲しいと思うのです。



ダンススポーツと栄養

～その3. 朝食をしっかりと摂りましょう～

神奈川県ダンススポーツ連盟 指導担当副会長 伊藤定

現在、世界中では約8億の人々が飢餓に苦しんでいます。その反面、先進国では約30%の食べものを捨てています。日本だけでも20%食べものを大切にすれば、2千万人以上の人々を救うことができます。我々は“もったいない”という言葉に再認識しなければならないと思いますが、食べられる幸せな環境にあるにもかかわらず、どんどん増えているのが朝食を欠食する人達です。そして、その数は20代の男性で3人に1人とされています。

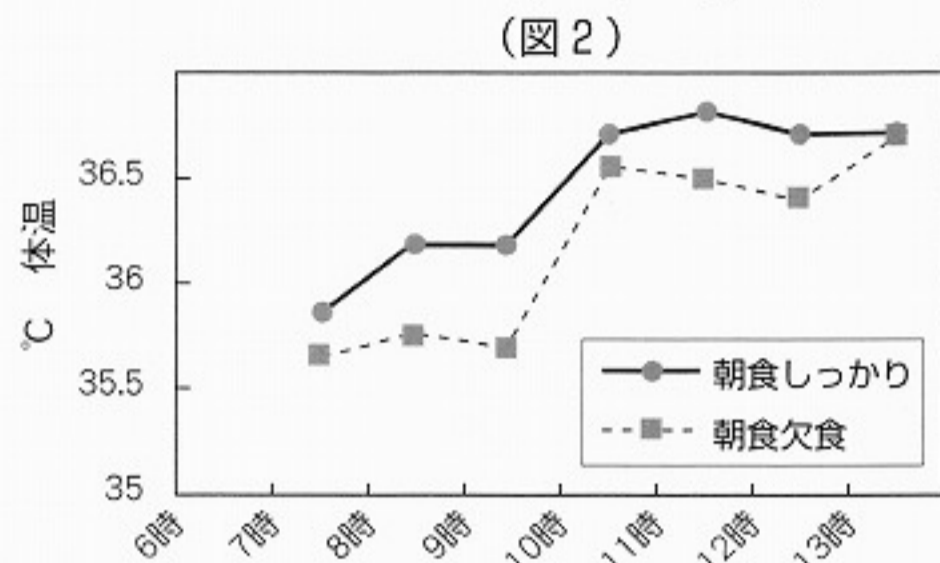
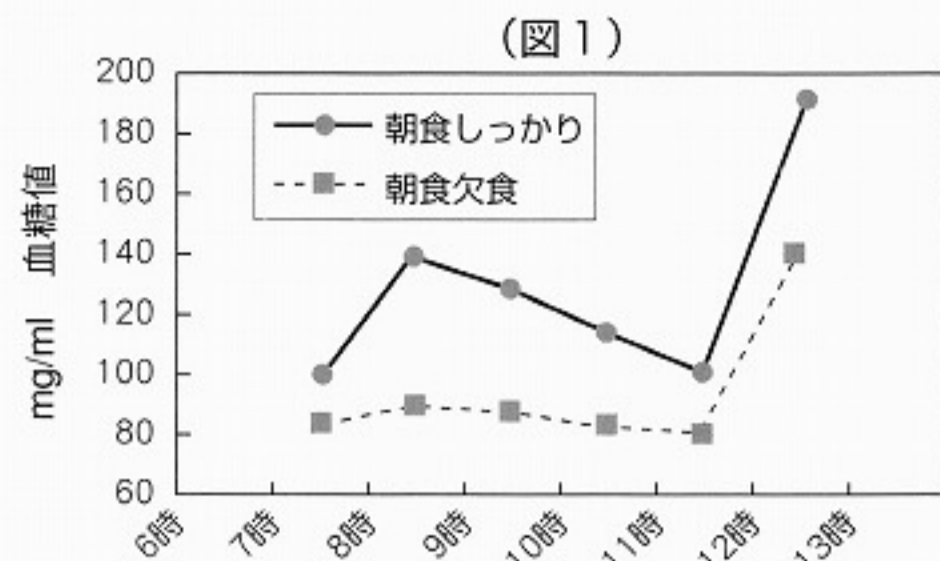
朝食は1日の生活始動のウォーミングアップの効果があり、朝食を食べることにより脳が働き出します。特にパンやご飯などに多く含まれている糖質は脳にとっては唯一のエネルギー源であり、さらに身体活動のエネルギー源であることに加えて、エネルギー基質であるATPを無酸素状態等の嫌气的条件下で生成するので大変重要です。

(図1)は朝食を食べた場合と欠食した場合の血糖値の変化を、(図2)は同じく体温の変化を表していますが、朝食を摂らないと脳も身体も働きが鈍いということがわかります。

深夜に及ぶダンススポーツの練習で疲れてしまい、朝食よりも朝寝を選択する生活習慣を持った人達は学校でも職場でも午前中は活動的ではなくボンヤリしてミスが犯しがちです。

また、(図1)では朝食を摂らないと昼食後も血糖値の上昇が朝食を摂取した場合に比べて低いので、朝食欠食はその人に1日中なんらかの悪影響を及ぼすことになります。

ダンススポーツの上達には練習が必要ですが、良い練習を行なうためには1日3食の食事とおいしい朝食のための睡眠が欠かせないようです。



自分でヒールカバー交換可能のヒールトップ 好評発売中！！

Astic

Dance Shoes



ご来店いただくと、全品20%OFF 2足目からは50%OFF!

同所にダンススタジオオープン！！ レッスン場としてもお使いいただけます。 お問い合わせください。

これからのレッスン予定 (受講生募集中)

<オシャレ講座 講師：岡部 陸>

表情、姿勢、歩き方、しぐさ、メーキャップ、ファッションをプロのノウハウで磨きます。

講師の岡部先生はオスカープロモーションの新人の育成、指導、教育を長年担当、

多くのモデルプロダクションでイメージコーディネーターを担当し、

またテレビの出演、ショーの演出、講演、

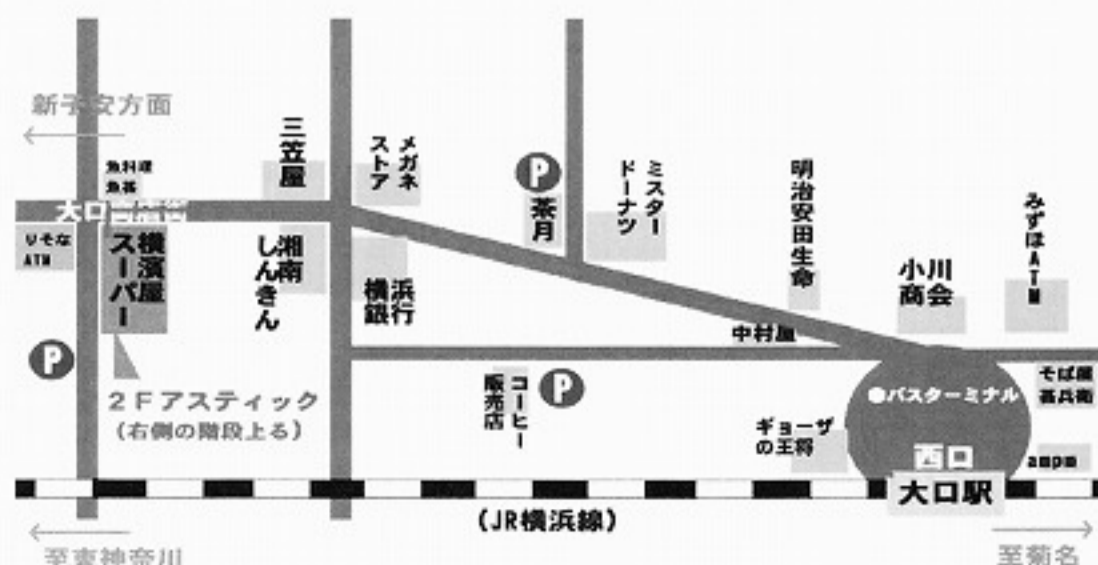
多数を手がけていらっしゃる、トップモデルの先生です。

アスティック グループ

〒221-0002

横浜市神奈川区大口通127-1 マツモトビル 2F

TEL 045-439-4949 FAX 045-439-4948



芸能人社交ダンス部快挙!!

平成18年3月5日 於)相模大会2級戦



優勝
オリエンタルラジオ藤森・マルシア組



広報部のアンケートでは、芸能人の大会になっているのではないかと、というような厳しいご意見もありました。

大会運営側としては、申し込みを含めて、通常の選手と同じ扱いとして考えてはいるのですが、芸能人の参加でTV収録ということから、会場設営から、運営まで、通常の大会とは違う面が出てしまい、そう感じられても仕方ないかも知れません。とはいえ、TVのお陰で新たにダンスを始めるきっかけとなったという方も多く、運営する連盟側や選手は、応援することも多いのです。

芸能人が参加すると、思わず上位入賞を取られてしまうのではないかと感じるかと思いますが、審査は公平に行われており、決勝に残れるかどうかは、われわれ同様に、選手にかかっているのです。

2級戦で惜しくも力を発揮できなかったという方は、次回は、芸能人に負けないよう、頑張ってください。



準優勝
オリエンタルラジオ中田・佐藤玉緒組



表彰式写真より
優勝・準優勝

坂東英二・大沢あかね組

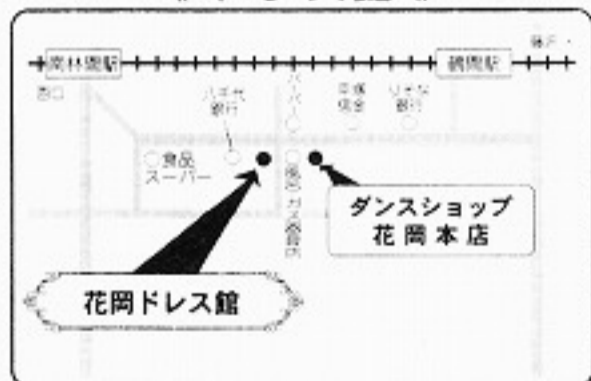
レギュラー西川・和希沙也組

オリエンタルラジオ中田・佐藤玉緒組

オリエンタルラジオ藤森・マルシア組

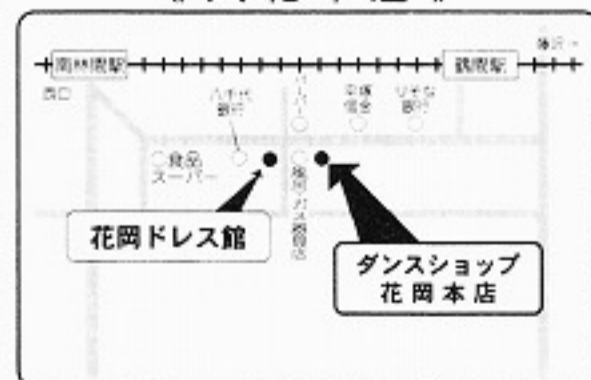
レギュラー松本・榎原郁恵組

《ドレス館》



〒242-0006 神奈川県大和市雨林間 1-13-1
☎ 046-273-0133

《大和本店》



〒242-0005 神奈川県大和市西鶴間 1-8-17
☎ 046-273-0133

ダンスショップ 花岡

www.danceshop-hanaoka.com

ダンス用品のことならおまかせ
華麗に貴女を演出いたします

愛甲石田店

NEW OPEN



ダンスショップ花岡

開店21周年ダンスパーティー

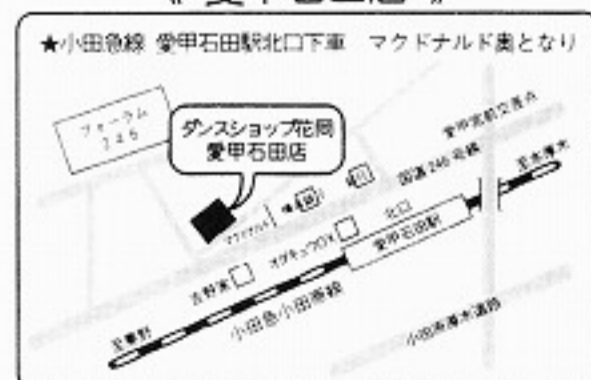
9月30日(土)15:00~21:00
小田急センチュリー相模大野
一人 16,000円

《横浜中山店》



〒226-0011 横浜市緑区中山町 327-11
シロタ中山ハイツ 2F A 202
☎ 045-937-4300

《愛甲石田店》



〒259-1116 神奈川県伊勢原市石田 588-8
☎ 0463-92-6950



お家の周りを 素敵にリフレッシュしてみませんか

～ご用命ありがとうございます。心より御礼申し上げます～

門・玄関のイメージチェンジ

- ★ タイル・インタロッキング
- ★ 土間コンクリート・アスファルト舗装
- ★ 土間の水はけ・雨水排水設備

おしゃれなお庭

- ★ コンクリート壁
- ★ ブロック積
- ★ フェンス・門扉
- ★ 植栽・花壇

駐車場の整備

- ★ 駐車場の新築
- ★ 改造工事
- ★ 地下駐車場
- ★ 立体駐車場
- ★ シャッター
- ★ 屋根取付け

防犯対策・その他

- ★ 防犯カメラの設置
- ★ 自動照明装置
- ★ 夜空に輝くイルミネーション取付け

お庭の片隅にちょっとしたダンススタジオ（練習場）を
作ってみませんか・・・（新設・リフォームどちらも可）
いつでもどこでも好きな時にダンスの練習が出来ますよ♪

設計・施工は当社にお任せ下さい！！ 一報いただければお伺いいたします。

尚、お見積りは無料で行っておりますので、どうぞお気軽にご連絡下さい。

宏 和 工 業 株 式 会 社

建設業許可 神奈川県知事許可 般-9 第35715

〒213-0014 川崎市高津区新作1-2-2

TEL 044-877-7322 FAX 044-877-3664

***** 初心者の方大歓迎です！年齢・性別問いません。どうぞ遊びに来てください *****

プラザダンスクラブ(川崎市ダンススポーツ連盟所属) 福井 博 090-3316-5406

サークル紹介

日曜ダンススポーツサークル（相模原市連盟）

日曜ダンススポーツサークルは、ダンスを志す会員相互の技術向上と親睦を計ることを目的とし、1978年に結成されました。相模原市立弥栄小学校を中心に、毎週日曜日7時より3時間の練習会を実施しています。当サークルは競技会出場をめざし、プロの先生の指導のもと、技術向上に努めております。現在会員数28名、毎週のように競技会に参加し、各組とも優秀な成績を収めております。この3月には、地域との交流と技術交換の場とし、ダンスパーティーを開催しました。今回、特に指導して頂いている先生方2組にお願いし、スタンダード、ラテンのデモンストレーションをして頂き大変盛大のうちに終わりました。秋には会員相互の親睦とダンスの向上を目的とした旅行も計画しています。年齢も様々、趣味も様々、性格も様々でもダンスが大好き、というカップルの集まりです。是非とも競技会に出たいダンスを始めたいと言う方、一緒に始めませんか？ 親切な仲間があなた方のご入会をお待ちしております。



問合せ先 042-762-3177 北島 090-9373-9751

エイト舞踏研究会（相模原市連盟）

昭和50年6月社会教育活動を通じて、暖かい心の触れ合う人間関係づくりを目的として発足しました。

（初代会長 高柳義治）合言葉は①健康で②楽しく③美しく④一人一役、その実現の為に

- (1) ボディ表現の8ポイント（ネック、アーム、ショルダー、ボディ、ヒップ、ニー、アングル、フット）
- (2) 精神面の8ポイント（健康、美意識、リズム感覚、表現力、協調性、社会的人間性、克己心、互助精神）



を掲げてエイト舞踏研究会(エイト舞研)と命名し立ち上げたサークルで会員は競技会に出場する事が目標です。現在70坪の専用ホールを借りて毎週土曜日練習しています。

昨年（平成17年）創立30周年を向かえ、ケヤキ会館大樹の間で盛大にパーティーを行いました。

【問合せ】会長 岡本寿一 TEL042-778-0395

川崎サンダンス（川崎市連盟）

誕生のいきさつ

鈴木先生達がLACD（現 神奈川DSC）と同じ様にと級別戦を立ち上げた年、東京のある区大会で2級戦S優勝し新年度からの、2級選手としての仮免許をいただきました。

それをきっかけに、前からやっていたサークルを独立させ、市連盟に加盟させる事になりチャボの会、あひるの会、とか色々な名を経て川崎サンダンスが誕生しました。

あれから？年 メンバーも変わりましたが、指導者は変わらず、現在に続いております。

私たちは最初から、出口先生 沼田先生にご指導を受け、ずーつと過ごして来ましたので、先生方に教えていただいた事を、少しでもサークルの皆に伝えられたらとやってきております。

そのためか、基礎に煩く、姿勢 音楽と、遊びから入ってきた人達には、煩さがられている様です。

その中現在D級選手10名を含め選手登録23名 会員30名のサークルです。ちなみに平均年齢60歳代女子が少ない珍しいサークルです。先日新聞にちよつと紹介されました。

少なからず引き合いの電話が入ってきます。それがほとんどが年齢の多い方々で、男女を問わずダンスに興味があるが、恥かしい、年齢の高いこのサークルならと何名か見にきています。

生涯スポーツとしてのダンスの楽しみ方には、まだまだ道はあると思いました。もちろん《オリンピック》には繋がりませんが、それを支える力にはなってくれるのではないのでしょうか

指導員 松館正光 安田輝子

ロイヤルハynes (藤沢市連盟)

市連盟と共に

藤沢市ダンススポーツ連盟が発足して早くも5年を迎えます。我がサークルはその立ち上げと共に育って来ました。まだまだ未熟で会員数も少ないので、これからも技術力、人材、財政の向上をはかっていかななくてはなりません。現在、競技会に出ているカップルは4組だけで、かろうじてサークル対抗戦に出る事が出来ます。

私達の自慢すべき事は結束力の強さと昨年74歳にしてスタンダード一級に昇格したリーダーが在籍している事です。全員がいくつになっても踊り続けられる楽しいサークルを目指します。

090-3226-6762 砂川育太郎

横浜レッツダンス (横浜市連盟)

我がサークル

当サークルは、港北ソシアルダンスサークルの名称で昭和58年に近隣の同好者を中心に発足、平成年号に変わると共に一層の充実を期待し、横浜レッツダンスと改称、元気一杯のサークル活動を続け、ダンスパーティーを主催、又各所で催されるダンスパーティーなどへ積極的参加をしながらダンスの楽しみを享受してきた。

平成2年早々に社会人横浜連盟立ち上げに参画、鈴木清様、吉田典昭様のご指導のもとJADA加盟を果たし、アマチュアダンス界発展の趨勢に従ってJDSF会員サークルとして横浜支部、神奈川県連活動に寄与してきたその貢献度は、横浜随一と会員一同自負している。

しかし当サークルもご多分にもれず競技指向とそれ以外のダンスに取り組みたいグループとがサークル活動の中で折り合いを求めて紆余曲折を繰り返した時期のあったことも事実である。

歴史あるサークル会員として現在は競技のランクアップを求める人、指導者としての資格を取得して後進の指導にあたる人、仲間づくり等で楽しむ人、それぞれの道を選んで、和気藹々のサークルとなっている。

現在サークルでは新進気鋭の若手プロカップルに指導を依頼して、楽しく奥深く、身につくレッスンを受けている。昨年の県大会ではサークル対抗戦で第5位だったが、今年は優勝を手に入れたいものである。

(現在会員数 47名) 吉岡昇治



プロムナード 個性のある踊り



「個性のある踊りをしなさい」と良く聞きます。「個性」って一体なんでしょう？ある辞書に寄れば「個々の人や物が自ずから持つ他と区別される特性。」とあります。人間は互いに肉体にも心にも共通点が多いと同時に様々な違いがあり、しかも他の動物と比べて精神的な特殊性が著しい。それらの共通性と特殊性を総合して「個性」というのでしょうか…。

ここで難しい理論を追求するつもりはないのですが選手のダンスにもっと個性があれば面白いのではないのでしょうか？踊りだけで「あっ この踊りはこの人の踊りだ！」なんて言われればしめたもの。皆が感動し真似したくなる“な

にか”がほしいですね。

ダンスの動きにはAction (何をするか)、Dynamics (どのように)、Body (どれを)、Space (どこで)そしてRelations (互いの関係)、最後に言葉ではないコミュニケーションと言う要素が存在するそうです。専門的には首、肩、頭…と動かす部位の注意がたくさんありますがまずベーシックを学びすこしずつ「自分の踊り」を磨いていきたいですね。

踊るとき心の持ち方…って大切なのではないのでしょうか。心、気持ちは目に表れる…他人とは絶対同じでない“なにか”が目の力、目の輝きに表れたとしたらまず「個性のある踊り」の第一歩になるのではないのでしょうか？



2006年度事業予定

- 7月23日(日) 川崎市市民ふれあいダンスフェスティバル & シルバースター川崎大会/武蔵小杉中小企業婦人会館
- 8月13日(日) 第13回鎌倉市ダンスフェスティバル/鎌倉芸術館
- 8月27日(日) 相模DS連盟創立30周年パーティー/ホテルセンチュリー相模大野
- 9月10日(日) 第13回相模原市長杯戦ランキング戦競技大会/相模原市総合体育館
- 9月10日(日) 技術講習会&ダンス交流会(仮)/鎌倉武道館
- 9月23日(土) 第5回シルバースター相模大会/大和市保健福祉センター
- 9月24日(日) 第60回 川崎大会/とどろきアリーナ
- 10月27日(金)~31日(火) ねんりんピック大会(静岡県)
- 11月3日(祝) 第12回赤い靴杯/横浜文化体育館
- 11月12日(日) 川崎市市制記念大会/川崎市体育館
- 11月19日(日) 第30回 相模大会/南足柄市体育センター
- 11月26日(日) 第5回藤沢大会/藤沢市秩父宮体育館
- 12月16日(土) 神奈川県シルバー大会/武蔵小杉中小企業婦人会館

2007年度事業予定

- 1月21日(日) 第13回鎌倉市DS競技会/鎌倉武道館
- 3月17日 第16回シルバー大会および相模原市民DS競技大会/相模原市北総合体育館

なお、2006年度/2007年度については予定で記載しております。日程変更等が考えられますので、予め確認を御願ひ致します。

技術認定会・講習会のお知らせ

- 7月15日(土) 認定会(川崎) 中小企業婦人会館(G4-G6)
- 7月16日(日) 講習会(相模) 海老名国分コミュニティセンター
- 7月23日(日) 講習会(相模原市) 相模原市立体育館
- 8月5日(土) 認定会(湘南) 平塚市商工会館(G5-G6)
- 8月13日(日) 認定会(相模) 大和スポーツセンター(G5-G6)
- 認定会(相模原市) 相模原市立あじさい会館(G4-G6)
- 8月23日(水) 講習会(藤沢) 村岡公民館ホール
- 9月13日(水) 講習会(藤沢) 村岡公民館ホール
- 9月24日(水) 認定会(藤沢) 江ノ島女性センター(G5-G6)
- 11月12日(日) 技術認定会(鎌倉) 見田記念体育館(G4-G6)
- 12月17日(日) 技術認定会(神奈川県) 会場未定(G3~G6)

お詫び) 広報誌3号の事業予定について、相模原市の大会の会場が全て違ってしまいました。また、県大会の日にも間違いがあり、ご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。

県連盟からお知らせ

神奈川県ダンススポーツ連盟設立30周年及び県体協加盟記念ダンスパーティー

日時 平成18年11月11日(土) 11:30~16:00
会場 横浜大榎橋ホール
会費 5,000円(予定)
設立30周年及び体協加盟をみなさんと一緒に祝い、一日を楽しみましょう。

「クリスマスダンスフェスティバル」

日時 平成18年12月24日(日) 10:00~18:00
会場 横浜文化体育館
会費 5,000円(予定)
クリスマスの日を、ダンスで楽しみましょう。

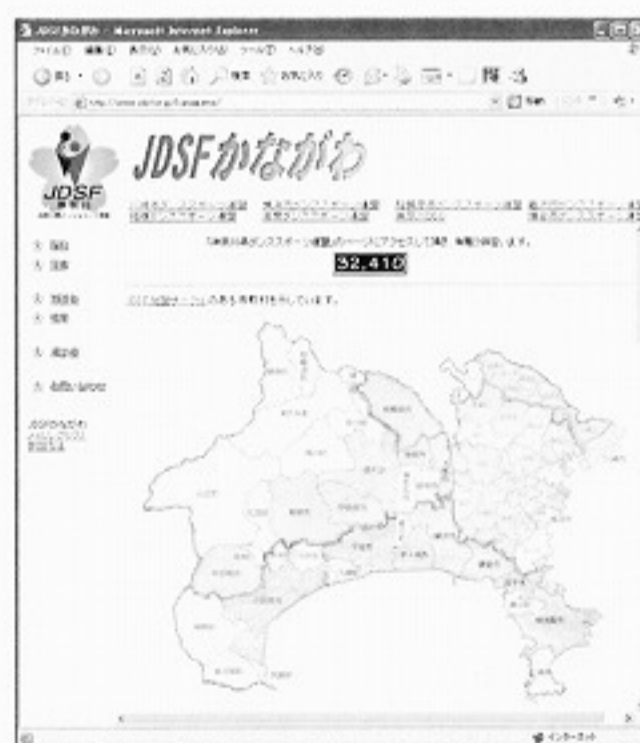
12月10日 神奈川県シルバー大会

神奈川県では各所属連盟でもシルバースター大会を開催しております。併せてご参加をお待ちしております。なお、申込みについては、各サークルを通じてお願いします。



インターネット ホームページのお知らせ

<http://www.jdsf.or.jp/kanagawa/>



県連盟では、皆さんにお知らせしたい事や競技結果などを、ホームページに掲載しております。本紙面に記載できなかった情報もあります。合わせて、ご確認をお願い致します。



編集後記

紹介して欲しいサークル、記事を投稿したい方、広告など、御座いましたら広報部員を通じて宜しくお願い致します。今回は、日の当たらない(いつも体育館なので日は当たりませんが)、裏方の役員について、ちょっと紹介してみました。次回は、県連盟30周年を紹介したいと思います。広報部部長として、佐藤隆三氏が着任致しました。よりよい広報誌を目指して頑張りますので宜しくお願い致します。

発行日 平成18年7月2日
発行人 神奈川県ダンススポーツ連盟 仲野 巽
企画・編集・発行 神奈川県ダンススポーツ連盟 広報部
発行部数 6000部
印刷所 有限会社 金港堂